

第21回(2015年度)くまもとアートポリス推進賞募集要項

■趣 旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化の情報発信地としての熊本を目指して、優秀な建築家やデザイナーの才能・アイデアを結集し、機能面はもとよりデザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

また、県内各地の優れた建造物等について顕彰し、建築文化に対する関心を高めるため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を行っています。

■表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む。)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。)とします。

■選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ① ②～⑥の評価ポイントがデザインに反映され、優れているもの | ⑤ 地域づくりに寄与しているもの |
| ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの | ⑥ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの |
| ③ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの | ⑦ 良好な施工が行われているもの |
| ④ 施設の活用に創意工夫がみられるもの | ⑧ 維持・管理が良好なもの |

■賞

「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。
事業主(必要に応じて管理者を含む。)、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。

■応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

■選考委員(50音順)

青木 淳(青木淳建築計画事務所代表)
大野 郁子(イラストレーター、JAGDA会員)
北野 隆(熊本大学名誉教授)
高橋 晶子(ワークステーション共同主宰、武蔵野美術大学教授)
田野弘一郎(熊本日日新聞社編集局文化生活部長兼論説委員)
塚本 由晴(アトリエ・ワン共同主宰、東京工業大学大学院准教授)
西嶋 公一(オフィス・ムジカ代表、熊本県文化協会常務理事)

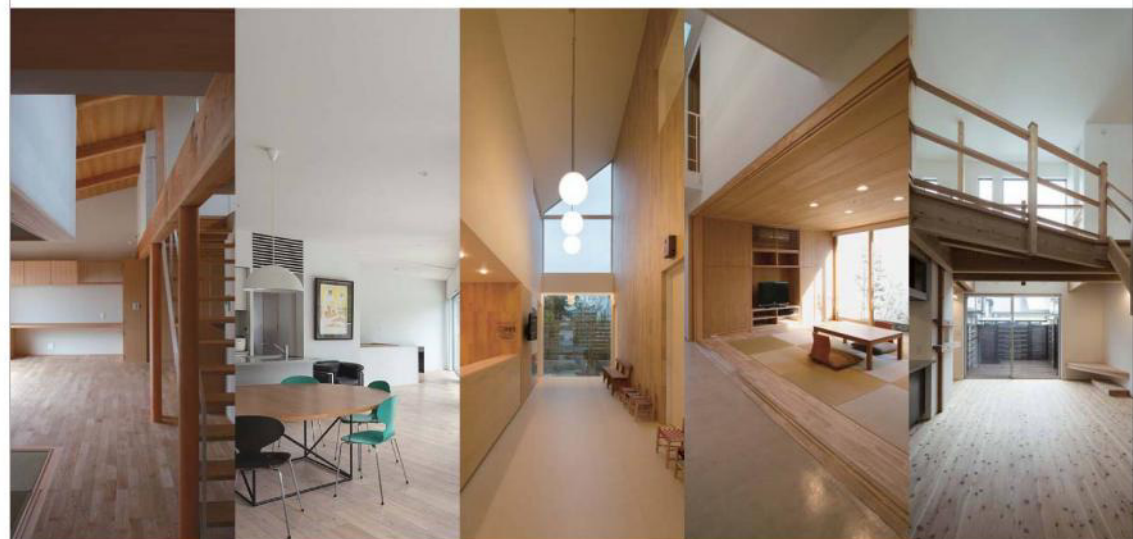
■選考経過

募 集	平成27年 6月22日(月)～ 8月24日(月)	
書類選考	9月30日(水)	
現地審査	10月28日(水)～10月29日(木)	現地審査件数:10件
最終選考	10月29日(木)	推進賞5件、推進賞選賞4件
表 彰 式	12月16日(水)	

熊本県土木部建築住宅局建築課
アートポリス・UD班

〒862-8570 熊本県中央区水前寺6-18-1 Tel.096-333-2537 Fax.096-384-9820
http://www.pref.kumamoto.jp/Default.aspx  http://www.facebook.com/kumamotoartpolis
県土づくり>アートポリス

発行者:熊本県
所 属:建築課
発行年度:平成27年度



K U M A M O T O A R T P O L I S

第21回「くまもとアートポリス推進賞」の 選考を終えて

選考委員長 北野 隆

「くまもとアートポリス推進賞」は、「くまもとアートポリス」事業の一環として、質の高い優れた建造物を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的に、1995年より行なわれている事業です。2015年度・第21回目の事業が実施されました。

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」には、総数35点の応募作品がありました。応募作品の用途は専用住宅・事務所・病院・幼稚園・消防署・博物館など、構造は鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造など、規模も大小さまざまでした。

第1次選考の書類審査は、全作品の事業主・設計者・施工者などを隠した上で、選考委員(7名)が各自の持点10点をA(3点)・B(2点)・C(1点)の3段階に分けて評価しました。各選考委員の評価を集計しますと、作品は分散した結果になり、点数の上位から下位の全作品について討議し、各選考委員の意見も加味しながら、第2次選考の現地審査作品が選出されました。

現地審査では、設計者へ建築のコンセプトや構造など、事業主には建築の使い方などについて質疑応答がなされました。現地審査では、第1次の書類審査(設計図)では把握できない周辺環境との関係、建築空間の取扱い、素材の感触などが体験できました。

「くまもとアートポリス推進賞」の大きな特徴は、事業主・設計者・施工者の三者を表彰するところにあります。質の高い優れた建造物を造るには、三者が一体となって協力が不可欠です。

最終的には「推進賞」として「Leeこどもクリニック」・「千丁の家」・「京町の家」・「T-house in 武蔵塚」・「33°46'48"」の5作品、「推進賞選賞」として「玉東町の家」・「第一幼稚園」・「南阿蘇の小さな診療所」・「薬味筆筒の家」の4作品が選ばれました。

これら9作品については、選考委員の先生方が詳細な講評を述べられていますから、ご覧下さい。

また、これら9作品について、私なりにそのデザイン手法を分類すると次のようになると思われま

- 設計者が、歴史的建築にこだわりながら、地域づくりに貢献している作品
「薬味筆筒の家」
- 建築素材を生かしながら、周囲の環境と融合させた作品
「千丁の家」・「玉東町の家」・「南阿蘇の小さな診療所」
- 設計者が、事業主の要望を加味しながら、自分のデザインを追求した作品
「Leeこどもクリニック」・「京町の家」・「T-house in 武蔵塚」・「33°46'48"」・「第一幼稚園」

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」の応募作品35点は、質の高い作品が多く選考するのに苦労しました。現地審査での事業主・設計者・施工者との質疑応答から、この「くまもとアートポリス推進賞」が熊本県内の建築関係者に浸透し、この選考を皆が楽しみにしていることを伺うことができました。

昨年は「くまもとアートポリス推進賞」も第20回を迎え、「記念シンポジウム」が平成27年2月11日・県庁大会議室で行われたところです。「くまもとアートポリス推進賞」も本年度で21回を数え、各作品が地域に根ざしたものが多くなり、熊本の建築文化の向上に大きく貢献していることが感じられました。

■くまもとアートポリス推進賞

Leeこどもクリニック	02
千丁の家	03
京町の家	04
T.house in 武蔵塚	05
33°46'48"	06

■くまもとアートポリス推進賞選賞

玉東町の家	07
第一幼稚園	08
南阿蘇の小さな診療所	09
薬味筆筒の家	10

※表紙写真(左から2番目):Y.Harigane(TechStaff)

Leeこどもクリニック

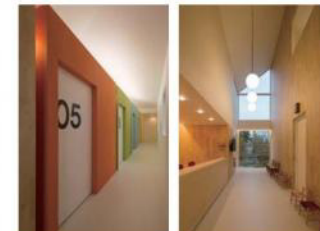
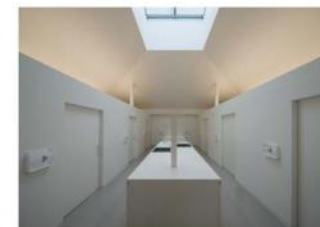
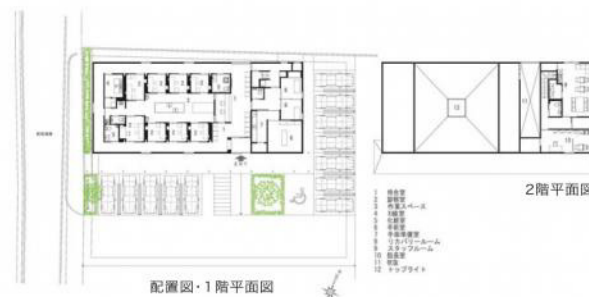


合志市の住宅地に建つ小児科の外来診療と小児外科のクリニックである。

書類審査の際、8室の診察室と隔離室の関係性に興味があった。現地審査で院長より診療方針、システムについて説明を受け、8室の意味が理解できた。外来診療院内の中心部に処置室を設け、その両脇に4室ずつの診察室が配置されている。外来患者は受付後順次にこの診察室で待機、待合室も兼ねている。院長と医療スタッフがこの各部屋を巡回して診察にあたり時には感染症患者の隔離室にも利用する。また患者の病状に

よっては重度の場合、早急な対応も出来る。このシステムにより待ち時間は軽減され効率よい診療が行われている。このプランを設計者が効率良くかつシンプルで優しい空間に設計。よく考えられた無駄のない動線に加え、冷たい印象にならないよう色彩計画にも配慮が施されている。各診察室の入口壁面は外国製の積木の色をシナベニヤの木肌に再現、空間に置かれたベンチやこども用の椅子はシェーカー家具のような丸みを帯びた優しいフォルム。シンプルな空間との兼ね合いが心地よく感じた。

(大野 郁子)



事業主	Leeこどもクリニック
設計者	有限会社グローバルアーキテクツチーム・ガット
施工者	株式会社佐伯建設熊本支店
所在地	合志市豊岡2000-33
竣工年月	平成27年2月
用途	診療所
構造	木造
階数	2階
敷地面積	853.53㎡
建築面積	314.34㎡
延べ面積	361.07㎡

千丁の家



果、2階の白い箱が、まるで構造原理を無視して軽々と梁に乗っているようにも見える。また、そのことを強調するように、南西側の四畳半の上部の白い壁の下端を薄い「落とし掛け」程度の鴨居で納め、白い箱が浮かんでいるかのような印象を与えている。こうした各部の丁寧な扱いが相まって、自由に爽やかなおらかな空間が獲得されている。

プランニングとしては、玄関たたきにつながる「ウォークイン・クローゼット」を設けたこと、建物の南の角をテラススペースとして、全体のボリュームから切り欠くことで、東の角の主寝室に独立性を高めていることが面白く、熊本県の風土にあった現代的木造住宅の一つのモデルになりえるものが獲得されていると思われる。

(青木 淳)



事業主	村島 孝明
設計者	space:lab. 一級建築士事務所
施工者	有限会社円ホーム
所在地	八代市千丁町古園出
竣工年月	平成27年7月
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	2階
敷地面積	520.33㎡
建築面積	95.06㎡
延べ面積	123.62㎡

バランスよく全体が統御された、質の高い空間が達成されていた。建物は、北西から南東に向かって下がっていく片流れ屋根でできていて、南東側が1層半程度のゆったりとした天井高の空間になっているのに対して、北西側は2層の構成となって、その2階から南東側の空間を見下ろす。北西側と南東側の境には、特徴的ペア・コラムで支えられる、背が270mm程度の大きな梁が建物を縦断していて、この住宅の大黒柱ならぬ、いわば「大黒梁」となっている。

巧みなのは、この「大黒梁」を立面で見たとき、その梁を境に上下で柱の位置をずらし、動きのあるリズムをつくり出していることである。その結



断面図



2階平面図



1階平面図

京町の家



熊本城の石垣の目の前に住宅があるということ自体が驚きである。石垣と住宅の間にある交通量の多い道路は、城の空堀だったにちがいない。その名残は道路と敷地のあいだの1.6mの段差にもあらわれている。東隣の敷地はさらに高く、3mほどの立派な石積みの擁壁に守られている。その上にある昭和初期に建てられたと思われる民家は、かなり傷みが進んでいたが、審査で訪れたときには

ちょうど改修工事中であった。この作品の敷地にも、同様の住宅が建てていたという。つまり城があり、堀があり、そのぎりぎりまで住宅がつくられてきた、熊本という町の形成史の一断面が感じられるような敷地なのである。そこに現代の核家族の住宅をつくる。設計者は時空間のスケールの違いを感じ取ったに違いない。敷地の対角線を占める2階の開口部により、奥行きを浅い空間に広角な視野を組み込んで、風景を「抽象化」する試みが、そのことへの応答であろう。二次的なことかもしれないが、四角い1階とのずれで生じたテラス、バルコニーが、石垣で増幅(?)された道路からの騒音を弱める効果も発揮している。ディテールもきめ細かく詰められており、完成度は高い。審査員一同、推進賞にふさわしい作品と認めるところである。

ただ評者個人の印象としては、「風景を抽象化する」ということで取られた方法は、町の形成史から引きをとることで、現代住宅を位置付けることであったように思える。町の形成史に入り込むように、その時空間との連続の中に、現代の家族の空間を位置付け

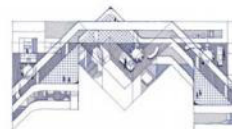
ることはできないだろうか？敷地前面を道路まで切り下げる、駐車場確保のための現実的選択も、空堀の記憶をこの住宅から遠ざけてしまった。恨むべきは自動車社会かもしれない。

(塚本 由晴)



Photo/Y.Harigane(TechStaff)

事業主	末次 理成
設計者	TASS建築研究所
施工者	株式会社岩永組
所在地	熊本市中央区京町
竣工年月	平成26年8月
用途	一戸建ての住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	2階
敷地面積	224.94㎡
建築面積	101.70㎡
延べ面積	157.10㎡



ダイアグラム



2階平面図



配置図・1階平面図

T.house in 武蔵塚



ンは、もう一つの光庭に面し、食卓の上は2階まで吹きぬけて高さがある。

玄関へのアプローチの途中には家族のためのシャッター付きの駐輪庫が、2階には夫婦がそれぞれ余裕を持って就けるカウンターワークスペースが、更には、寝室の奥には夫婦別々に区画されたウォークイン・クローゼットがある。また、子供部屋にも家族が増えたときのための用意があり、限られた中にうまく納められている。

建築がお好きな若いご夫妻とお子さんのための、シャープなラインと温かみのある木の室内に柔らかな明かりが交わる、理想の自邸が出来上がっている。

(西嶋 公一)

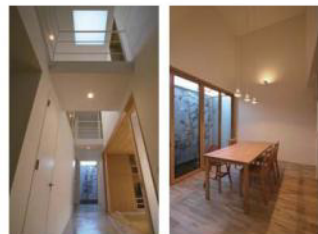


密集市街地の中にあって、周囲の視線をしっかりと閉じた黒いメタリックな外観が目を引く。

しかしながら、中に入ると様々な開かれた仕掛けがあり、明るくてゆとりのある居心地の良い空間が広がっている。

1階の入れ子状に配された居間は、光庭に面し、壁・天井は木目で仕上げられ、正方形に近い畳が大判のチェック様に敷かれて、落ち着ける中心となっている。これに面した廊下との間の戸はすべて袋戸となって隠れてしまい、一部吹き抜となった天窓からの明かりもあって、居間と廊下が繋がって、更なるゆとりを生み出している。

一方、やや閉じたダイニングとキッチン



事業主	富田 啓介・ゆり子
設計者	西山英夫建築環境研究所
施工者	有限会社ウエダホーム
所在地	熊本市北区武蔵ヶ丘
竣工年月	平成26年10月
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	2階
敷地面積	192.16㎡
建築面積	82.97㎡
延べ面積	132.09㎡



配置図・1階平面図

2階平面図

33度 46分 48秒
33°46'48"



なんとも楽しい住宅である。住宅密集地で間口が狭めの敷地、周辺環境を読み自然環境を制御し、一年を通じて快適な家を目指した結果、ここにしかないユニークな外観と空間を作り出している。各部が性能にかかわる意味をもち説明可能となっているところが面白い。いわゆる高気密高断熱住宅とはまったく違う回答を示しているのだ。

応募書類には周辺環境と住まい手の要望、日差し対策などが数多く書き込まれ、設計者の思考を追いかけてゆくことができた。家全体にわたって光と風を巡らせるため、南側に吹抜、北に庭を作っている。全体を中央と両側の3層に分節しながら2階は南側に集約してボリュームを削り、北からは平屋に見えるくらいの存在感で周辺に配慮。大勢の親戚が集えるようリビングと畳の間を続き間状にし、両側は回遊動線も兼ねた場の連なりで南北の通風をスムーズにした。



断面図



配置図・1階平面図

2階平面図



主人の部屋はベッドを突っ込むように置いていっぱいの細長く小さな空間だが、逆転の発想で秘密基地のような印象。階段とブリッジは南の大きな窓が開放的になりすぎるのを緩和しながらインテリアの主役となり、三角に広がった輪郭や手摺子の表情に個性がにじみ出る。

各部の要素がひとつのスタイルにまとめられるのが通常だとしたら、この住宅はいささかミスマッチなところがある。でも、各部が果たすべき性能は理知的に語られ、それぞれが単なる部分にならず発見や親しみを各所で呼び起こす。住まい手も大満足のことである。

(高橋 晶子)



事業主	原野 真司
設計者	岩瀬陸広建築設計
施工者	有限会社ウエダホーム
所在地	熊本市中央区大江
竣工年月	平成25年6月
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	2階
敷地面積	162.73㎡
建築面積	81.25㎡
延べ面積	101.01㎡

玉東町の家



玉東町の敷地は山間部に位置し、周りは山々に囲まれ、みかん畑を見渡すことが出来る。

この地域の家は古くから、自分を誇示することなく周りの風景に溶け込むように作られてきた。(熊本県の代表的民家：二棟造り)

この家も母屋棟・客間棟・水廻り棟に分けられ周りの自然に溶け込むような工夫がなされている。さらに母屋棟の屋根も湾曲(むくり)になり、自分を誇示することなく、廻りの山々に溶け込んでいる。その為に棟木、桁などを曲線に加工し、組物も出来るだけ金具を使わず、伝統的工法で作られている。母屋棟の船底天井・大黒柱

は八角柱にし、客間棟の垂木は扇垂木になるなど大工の技術が工夫されている。また、上棟時には「餅まき」、完成時には「お披露目祝い」など伝統的儀式も行ったという。最近、家作りにも便利な合理性が追求されている。このため部材の仕口なども金物が多くなった。日本の伝統的な大工技術の継承も必要である。

「玉東町の家」は古くから伝わる伝統的な家作りを現代に生かした住宅として評価されるものである。

(北野 隆)



事業主 角田 保治
 設計者 大野アトリ工
 施工者 株式会社田中建設
 所在地 玉名郡玉東町二俣
 竣工年月 平成27年1月
 用途 一戸建ての住宅
 構造 木造
 階数 1階
 敷地面積 549.99㎡
 建築面積 125.45㎡
 延べ面積 122.74㎡

配置図・平面図



第一幼稚園



まず、1階も2階も建具が開け放たれ、建物の外にまで子供達の声が高らかに響いているおおらかさに驚いた。子供達の声や騒音とみなした周辺住民から、幼稚園や保育園が迷惑施設呼ばわりされるという話をよく聞かからである。建物に入っていくとさらに驚かされるのが、中庭の水盤である。中庭で切り取られた空の下、水たまりで子供達が裸足ではしゃいでいる。給食の厨房はガラス張りで、きびきびと働く調理師さんたちが見える。中庭からピロティ状(扉で閉じることできる)の空間でつながった園庭では、子供達が砂遊びをしている。2階では中庭を中心に、外周のペランダと一体になった大きな空間が広がっている。全体が見渡せるのは大

人の視点からであって、子供の低い視点からは可動の家具でゆるく仕切られた個別の領域がもっと際立っているはずだ。ここには3歳から5歳までの約300人が一緒にいて、各所でクラスごとに合唱、お話、お絵描きに興じている。何か盛大な花見の宴席に迷い込んだような、賑やかさ、楽しさである。でもこの賑やかさ、喧騒とは紙一重。凹凸のない天井は、音を反射させて遠くまで運びすぎるかもしれない。

いずれにせよ、ここまで開放的な施設空間は目にしたことがない。熊本の温暖な気候がなせる技とはいえ、あっぱれである。そこに子供の成長についての園の理念も反映されている。教育する側が子供の成長に求める像

があるのは良いことである。だが空間はそれを批評することなく、その像を忠実に翻訳し、全体化して良いのだろうか? そんな本質的な疑問が審査員の間に残されたために、推進賞選賞となった。

(塚本 由晴)



事業主 学校法人第一学園
 設計者 株式会社日野設計+幼児の城
 施工者 株式会社小竹組
 所在地 熊本市中央区坪井4-20-22
 竣工年月 平成27年3月
 用途 認定こども園
 構造 鉄骨造
 階数 2階
 敷地面積 3084.57㎡
 建築面積 1213.26㎡
 延べ面積 1161.63㎡



南阿蘇の小さな診療所



雄大な阿蘇の風景に抱かれながら伸びる幹線道路を折れ細い坂道に進むと、民家や別荘が点在する静かな里があらわれる。その一角、築数十年

の母屋に隣接してたたずむ診療所。間口5m、奥行7m、最高高さ3.3m。10.6坪という可愛らしさは、棟の向こうはるかに広がる風景との対比によって、より強調されている。

限られた予算がネガティブな話に繋がるのではなく、積極的に知恵を絞り感覚を研ぎ澄ます方向に展開した。工種を限定し分離発注(直轄)、一部を自身が施工することで、設計から竣工まで一体的に関わることができ思い入れが強いと設計者は語る。施主とともに作り上げた原初的な嬉しさが、この小さな建築から伝わる。

建築作品としてもいろいろ発見があって面白い。例えば、基本モジュールは一般的な910や950ではなく材



長を使い切る1mである。そのため、中に入ると土間も診療スペースも狭苦しさがない。スラブを直接洗い出した土間、天井の「木造打ち出し」は手間を省きながらも豊かな素材感を内部にもたす。内障子の出隅の柱が省略された回転障子のために上下に施された仕舞(昔よく見られたが今は珍しい)、縷縁を消した地窓など、細部まで小気味良く考えられながら丁寧に施工されている。それらがバランスよく納まって、身体スケールに程よく寄り添い落ち着ける空間が出来上がった。

(高橋 晶子)



事業主 岩村 修
 設計者 spacelab. 一級建築士事務所
 施工者 spacelab.
 所在地 阿蘇郡南阿蘇村大字河陰
 竣工年月 平成25年2月
 用途 整体院
 構造 木造
 階数 1階
 敷地面積 415.25㎡
 建築面積 40.00㎡
 延べ面積 35.00㎡



平面図

やくみだんす 薬味筆筒の家



Photo(すべて) / 永石秀彦

かつて宿場町・在町・温泉場として栄えた山鹿の旧豊前街道に面した一角には、八千代座をはじめとして、今も古い街並みが残っている。とはいえ、その保存状態は、旧態をよく保持できているというところまでは至っておらず、今後、文化庁の「伝統的建造物群保存地区」に指定されることも難しいと思われる。となれば、国からの補助・支援を期待できないなかで、その修景を保存もしくは維持しなければならず、その方策またその取り組み姿勢の確立が問われるところである。

「薬味筆筒の家」は、決して良好とは言えない応急的改修が施され、またすでに左に15cmほど傾いてしまっている既存町家の、通りに面する部分を薬味筆筒のような意匠で修景改修したものである。薬味筆筒というモチーフが選ばれたのは、改修設計者個人の、鍼灸院→医療→薬→薬箱という連想によるもので、それは間違いなく恣意的判断であるわけだが、その町家が果たしているプログラムに由来する意匠を選択することで、すでに約束事として決まってしまう「町家らしい」デザインで街並みが



一律に覆われてしまうことを避ける一つの有効な方策になっていると思われた。文化財に指定される可能性があれば、保存・復元の道が探られたはずだが、その可能性が低いところで採られるべき創造的修景改修の一つの好例になっているという点で、評価した。

(青木 淳)



事業主 坂梨 イツ子
 設計者 株式会社福山空間建設研究所
 施工者 株式会社福山空間建設研究所
 所在地 山鹿市山鹿
 竣工年月 平成27年8月
 用途 鍼灸院
 構造 木造
 階数 2階
 敷地面積 214.21㎡
 建築面積 95.89㎡
 延べ面積 116.35㎡

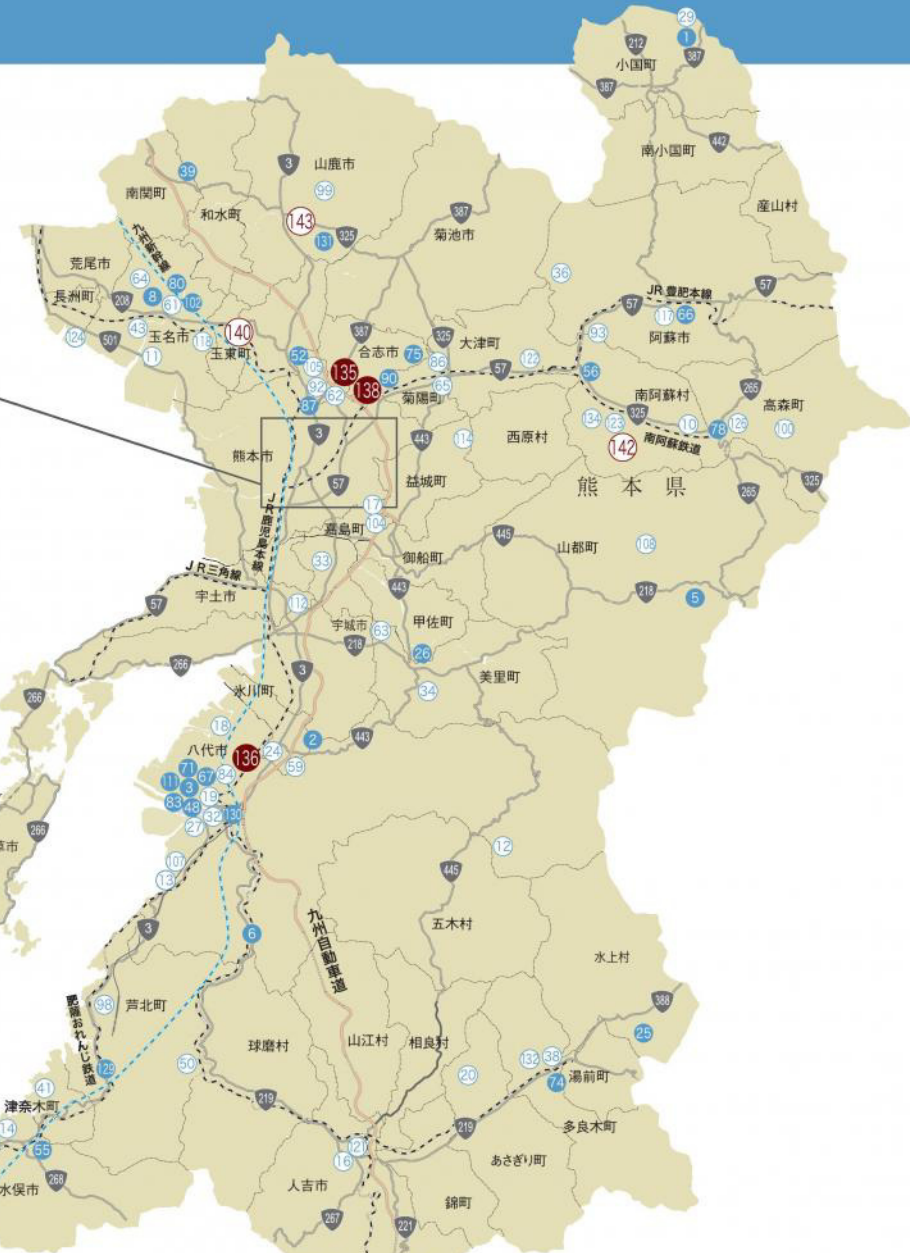
くまもとアートポリス推進賞マップ

●:くまもとアートポリス推進賞 ○:くまもとアートポリス推進賞選賞

- 第1回** 1995年度
 - 小国町立西里小学校
 - 東陽村石匠館
 - 八代広域行政事務組合 消防本部庁舎
 - 株式会社野田市兵衛商店 流通団地営業所
 - 津和野産産館(四季のふるさと)
 - 荒瀬ダムポートハウス
 - 出田眼科病院
 - 尚玄山荘
- 第2回** 1996年度
 - 社会福祉法人慈愛園ノーマンホーム
 - 阿蘇白水温泉「瑞晴」
 - ふるさとセンターY-BOX
- 第3回** 1997年度
 - 久遠子吉代の里
 - 豊後老人ホーム八代市立寿寿寮
 - 水保市宮洗切園地
 - 丸尾紙工所
 - 人吉の會II/平井邸
 - 浮島黒辺水辺公園
- 第4回** 1998年度
 - 老人保健施設 かみみ苑
 - 熊本県信用保証協会八代支所
 - HOUSEH-M
 - 水保市保健センター
 - 水保市総合まやい直しセンター
 - 古閑邸
 - 聖母の丘
 - 高原町下宿まぼん公園
- 第5回** 1999年度
 - 水上村立瀧山小学校
 - 中央町総合交流センター
 - 石段の里 佐々木園(地域学習センター)
 - S.W.H
 - 50M-1棟の森美術館
 - 宮崎耳鼻科
 - 矢野邸
- 第6回** 2000年度
 - やつしるハーモニーホール
 - 城南の会
 - 中央町福祉保健センター「道の香苑」
 - ネクステージビル
 - 熊本YMCA 阿蘇キャンパスメインホール
 - セカンドサイト
 - 霧の斎場
- 第7回** 2001年度
 - 住居九州
 - K Residence
 - つなぎ美術館
 - 梅田の会
 - ガレリアのある会
 - chase
 - キューネット社員寮(希館館)
- 第8回** 2002年度
 - 久野邸
 - 立田山野外保養センター「純草の森」
 - 八代の町屋
 - いとうスエデンタルクリニック
 - 大野温泉センター
- 第9回** 2003年度
 - 熊本保健科学大学
 - 1-HOUSE
 - 熊本県現代美術館
 - UEDA Residence



- 第10回** 2004年度
 - 九州新幹線 新水俣駅
 - S.W.H
 - 田辺の家
 - 実業大学付属第二高等学校
 - ひだまりのまち B4
- 第11回** 2005年度
 - K-house in 近見
 - 高瀬蔵
 - 3 Towers
 - 美里町立中央小学校体育館
 - 玉名温泉つかさの湯
 - 畑田眼科病院
- 第12回** 2006年度
 - 阿蘇の会
 - nina Dental Clinic
 - 西の久保公園
 - "B" studio
 - 永田歯科
- 第13回** 2007年度
 - H-court
 - 熊本学園大学14号館(60周年記念会館)
 - 城下町の住宅
 - 多良木町交流館石倉
 - グリーン・ツィード アンド カンパニー アジア エンジニアリング センター
 - All mall
 - コソバポイント本社ビル
- 第14回** 2008年度
 - 障害者多機能型施設 高瀬寮
 - 5-house in 鳥崎
 - ジャンブルジムの家
 - Chro-e #01 (クローイ #01)
 - ガーデンコートゆかり
 - 松木運輸株式会社
 - しらさぎおばや
 - 済生会熊本病院 外来がん治療センター
 - barn renovation
- 第15回** 2009年度
 - 畑の中の軒家
 - 川上酒店
 - 1-CUBE #01 (アイキューブ #01)
 - 光の森の住宅
 - 桜木の家
 - R-House in 視尾
 - YMCA赤水保育園
 - 熊本市下通2-3-4番街アーケード
- 第16回** 2010年度
 - 道と暮らす家
 - 天草文化交流館
 - C-HOUSE
 - 小国町立佐敷小学校
 - 百年遺伝子の門
 - T-house in 高森
- 第17回** 2011年度
 - 熊本市医師会館・看護専門学校
 - 高瀬
 - 吉原邸
 - 喜島の家
 - 田園住宅(築純邸)
 - 1-apartment
 - 松の湯
 - 矢野の家
 - Shipな家
- 第18回** 2012年度
 - 行儀眼科
 - 八代の家
 - 豊洲の家
 - 聖華家カフェ
 - 阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビル
 - 小規模多機能型住宅介護
 - ハイマートの郷
 - ユウハウス
 - House-Sim
 - ±5"SEPPAN BOX
- 第19回** 2013年度
 - 大江の会/観音堂
 - T邸
 - 風と共に
 - 中九州クボタ本社・物流センター
 - 南阿蘇原眼科
 - 北郷Archive/長洲の家
 - 坪井の家
 - 芝浦総合内科クリニック/高森わたなべ薬局
- 第20回** 2014年度
 - 沼山津の家
 - House F. negamine
 - 湯浦温泉センター
 - MA-HOUSE
 - 供養菩提の家(佐藤忠商店)
 - 古代の風 黒の蔵
 - 多良木町歴史文化財等センター
 - 熊本市西区役所
 - 旅館 心乃間



● Leeこどもクリニック ● 千丁の家 ● 京町の家 ● T.house in 武蔵塚



● 33'46'48" ● 玉東町の家 ● 第一幼稚園 ● 南阿蘇の小さな診療所 ● 薬味草苺の家

過去のくまもとアートポリス推進賞作品

●:くまもとアートポリス推進賞 ○:くまもとアートポリス推進賞選賞

第1回 1995年度						●小国町立西里小学校	●東陽村石匠館	●八代広域行政事務組合消防本部庁舎	●株式会社野田兵衛商店流通地産事務所	●清和物産館(四季のふるさと)	●荒瀬ダムポートハウス	
第2回 1996年度						●出田眼科病院	●尚文山荘	●社会福祉法人慈愛園ノーマンホーム	●阿蘇白水温泉「瑞晴」	●ふるさとセンター Y-BOX	第3回 1997年度	
第4回 1998年度						●久遠子古代の里	●養護老人ホーム 八代市立保養寮	●水俣市普洗切団地	●丸尾焼工房	●人吉の倉II/平井邸	●浮島馬辺水辺公園	
第5回 1999年度						●老人保健施設 かみひ苑	●熊本県信用保証協会 八代支所	●HOUSE H-M	●水俣市保健センター 水俣市総合市民センター	●古閑邸	●新母の丘	●宮原町下宮はまどん公園
第6回 2000年度						●水上村立福山小学校	●中央町総合交流ターミナル「石段の里 佐賀の湯」	●熊本市東区公民館(地域学習センター)	●シルフ・エッセ	●50M-樓の森美術館	●宮崎耳鼻科	
第7回 2001年度						●矢野邸	●やつしる ハーモニーホール	●城南の倉	●中央町福祉保健センター「潮の香苑」	●ネクスタージビル	●熊本YMCA 阿蘇キャンパメインホール	
第8回 2002年度						●セカンドサイト	●藤の斎場	●荘原九州	●K Residence	●つなぎ美術館	●神田の倉	
第9回 2003年度						●ガレリアのある會	●chase	●キューネット社員寮「希翔館」	●久野邸	●立山山野外保育センター「雑草の森」	●八代の町屋	
第10回 2004年度						●いのうえデンタルクリニック	●大野温泉センター	●熊本保健科学大学	●I-HOUSE	●熊本市現代美術館	●UEDA Residence	
第11回 2005年度						●k-house in 近見	●高瀬邸	●3 Towers	●美里町立中央小学校体育館	●玉名温泉つかさの湯	●新田眼科院	

第13回 2007年度						●阿蘇の倉	●nina Dental Clinic	●西の久保公園	●"B"-studio	●永田歯科	●H-court	
第14回 2008年度						●熊本学園大学14号館(60周年記念会館)	●城下町の住宅	●多良木町交流館石倉	●グリーンウッドアドバンス77 エンガジングセンター	●AI mall	●コンビスポイント本社ビル	
第15回 2009年度						●障害者多機能型施設 高森寮	●B-house in 島崎	●ジャングルジムの家	●Chro-e#01(クローイ#01)	●ガーデンコートゆうかり	●松木運輸株式会社	●しらさぎおざや
第16回 2010年度						●済生会熊本病院 外来がん治療センター	●barn renovation	●畑の中の一軒家	●川上酒店	●i-CUBE#01(アイキューブ#01)	●光の森の住宅	
第17回 2011年度						●坂木の家	●R-House in 梶尾	●YMCA水俣保育園	●熊本市下道2・3・4番街アーケード	●造と暮らす家	●天草文化交流館	
第18回 2012年度						●C-HOUSE	●芦北町立佐敷小学校	●百年遺伝の門	●T-house in 高森	●熊本市医師会館・看護専門学校	●高瀬	
第19回 2013年度						●宮原邸	●喜島の家	●田園住宅(雑草邸)	●I-apartment	●松の湯	●矢野の家	●Shipな家
第20回 2014年度						●行権眼科	●八代の家	●磯岸の家	●阿蘇家カフェ	●阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビル	●小規模多機能型居宅介護ハイマートの風	
第21回 2015年度						●ユウハウス	●House-Sim	●±5"SEPPAN BOX	●大江の倉/観望書房	●T邸	●風と共に	
第22回 2016年度						●中九州クボタ本社・物流センター	●南阿蘇眼科	●光臨Archive/長洲の家	●坪井の家	●渡邊総合内科クリニック/高森わたなべ薬局	●沼山洋の家	
第23回 2017年度						●House F, nagamine	●湯浦温泉センター	●MA-HOUSE	●供養曾孫の家(佐藤忠商店)	●古代の風 里の蔵-多良木町産産文化財等センター-	●熊本市西区役所	●旅館 心乃閑園